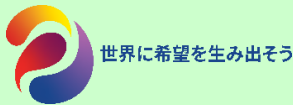


沼津西ロータリークラブ



2023～2024 年度・クラブテーマ

「未来につながる行動をとろう」

会長 重光 純 / 幹事 颯川ゆう子

第 1487 回 第 33 巻 25 号 2024 年 2 月 22 日

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 山静学友会会員 木宮正史様

■ 2 月のプログラム ■	
1488 回 18:30 2 月 29 日(木)	アクアガーデン迎賓館 2 クラブ合同例会 クラブ管理運営委員会
■ 3 月のプログラム ■	
1489 回 12:30 3 月 07 日(木)	アクアガーデン迎賓館 理事会⑩ 沼津市水道部 水道サービス課 「能登半島地震支援活動報告」
1490 回 12:30 3 月 14 日(木)	アクアガーデン迎賓館 沼津警察署 生活安全課 「青少年薬物乱用の現状について」
3 月 21 日(木)	祝日週休会
1491 回 13:45 3 月 30 日(土)	御殿場時之栖 静岡第 2 グループ IM 柗御殿場 RC

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 山本 哲之 / 編集者 久松 但

会長挨拶

● 会長 重光 純 ●

本日は、山静学友会の木宮正史様の外部卓話が予定されております。木宮様、どうぞよろしくお願いいたします。

山静学友会とは、皆様ご存じのことと存じますが、ロータリー財団プログラム（国際親善奨学生、GSE）による奨学金を獲得して、海外留学や海外文化研修を経験した会員により組織されている非営利団体です。ただ、これらのプログラムが 2013-14 年度から廃止されたことから、現在は新規の学友の加入が限定されており、新たな学友の創出を模索中であると聞いております。

すぐに思い浮かぶであろう山静学友会のメンバーとして、富士山吉原 RC の曾根真人さんや今年度の地区大会で紹介された RI 第 5280 地区の中曾根牧子ガバナーなどがいらっしゃるかと思います。山静学友会は RI2620 地区の創立とともに発足したことから、地区と同じように今年で 50 周年を迎えており、去る 1 月 21 日にはアクトシティ浜松において創立 50 周年記念のつどいが開催されたそうです。

山静学友会の目的は、会員相互の親睦と、ロータリークラブ、ローターアクト、インターアクト等関係団体との協力や連携のもとに、「国際親善使節」としての使命を自覚し、国際理解と友好に寄与するための活動を行うこととなっており、当クラブでも何度か山静学友会の会員の方に卓話を頂戴しております。

本日は、木宮様よりお隣の国である韓国との関係についての卓話をいただくことになっていますので、関わり合いの避けられない隣国に対する理解を深める貴重な機会となるのではないのでしょうか。

◎ ゲスト（1名）

山静学友会会員 木宮正史様

◎ ビジター（1名）

影山桓義様：沼津北 RC

◎ 米山奨学生

レ・テイ・チョウ・クインさん

◎ 欠席者(5名)

羽切勝利、下田朗弘、下原満知子、山本哲之、山本宣司

◎ 他クラブへの出席者

内田逸美(2/20 京都洛中 RC)

出席報告 会員数 22 名			
例会	会員数	出席数	出席率
1487 回	20 名	15 名	75.00 %

◎ スマイル報告

- 1.影山桓義様(沼津北 RC)：宜しく願います。
- 2.颯川ゆう子：
入会記念日のお祝いありがとうございます。
- 3.重光 純、4.颯川ゆう子、5.鈴木和憲：
木宮様、本日の卓話、宜しく願い致します。
- 6.M・D テーブル：テーブル会残金です。
- 7.本村文一、8.小野洋子：所用の為、早退します。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更

- ①沼津 RC
2/23(金) 休会 MU：無し
- ②富士宮 RC
2/29(木) 休会 MU：フォルストヒルズ 11:30-12:30
- ③沼津柿田川 RC
2/28(水) 第4週の為、例会無し MU：無し

2. 報告、連絡事項

- ①次週は、18:30 より、アカガデン迎賓館にて、2 クラブ合同例会です。
- ②次年度幹事より。先週配布しました「会員満足度調査のご依頼」を、本日中に事務局に提出してください。
- ③IM パンフレットに誤記がありましたので配布しました。差し替えをお願いします。

臨時理事会報告

1. 報告事項 なし

2. 協議事項

山本哲之君の奥様逝去に伴う香典、生花の件 → 承認

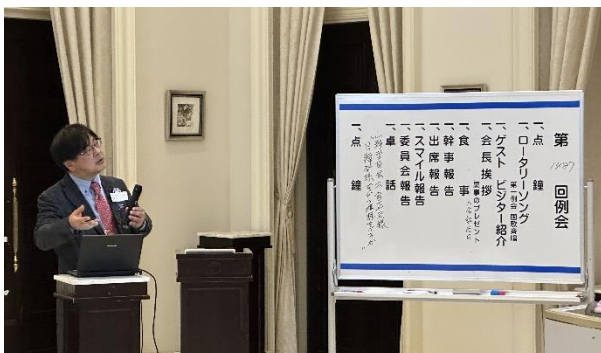
3, その他

米山奨学生の件 重光会長 今後の説明

外部卓話

「日韓関係、日本と朝鮮半島との関係」

山静学友会会員 木宮正史様



2023 年に入ってから日韓政府間関係は改善されたが、それ以前の日韓関係は悪化していた。なぜ、日韓関係が悪化したのか。その原因として日韓関係が「非対称的で相互補完的な関係」から「対称的で相互競争的な関係」に変容したにもかかわらず、日韓双方の政府、社会が、それに適切に対応できていないという点に注目する。

冷戦期、(1) 日本の力の優位、(2) 日本の市場民主主義と韓国が開発独裁という体制の違い、(3) 政府・財界関係のみの関係、(4) 関心・情報・価値の日本から韓国への一方的流通、によって特徴付けられる非対称な関係の下、日韓協力によって韓国の経済発展と政治的安定を達成し、北朝鮮に対する韓国の体制優位を確保することで日韓の安全保障を確実なものにするという、相互補完的な関係が形成されてきた。

ところが、1990 年前後、冷戦の終焉や中国の大国化などの国際関係の変化、韓国の先進国化・民主化などによって、(1) 日韓の力の対等化、(2) 市場民主主義という価値観の共有、(3) 市民社会間関係、社会文化を含む多層で多様な関係、(4) 関心・情報・価値の流通における日韓の双方向化、などによって日韓は対称な関係へと変化した。そして、共通目標が達成されたが故に、今後は一体何のために協力するのが不透明になり、日韓間には競争関係が強く刻印されることになった。

さらに、外交政策をめぐる乖離も目立つようになった。まず、北朝鮮への対応である。韓国は北朝鮮に対する体制優位を確保したが、その後韓国主導で統一に向けた平和共存の制度化へと一直線に進んだわけではなかった。北朝鮮の核ミサイル開発、日本人拉致問題など、南北関係や日朝関係を構成する諸要素が日韓関係にも影響を及ぼしてきたし、今後も及ぼすことになる。

次に、中国への対応である。中国の大国化、そして米中関係が対立へと変化する中、日韓がそれにどのように対応するかの選択を迫られる。それも日韓関係に影響を及ぼすことになる。

但し、2022 年 5 月の尹(ユン)錫(ソン)悦(ニョル)政権の成立に伴う、韓国における進歩から保守への政権交代によって、日韓外交の乖離は相当程度修復され、それに伴って日韓政府間関係も改善された。しかし、尹政権の支持率は低迷し、2024 年 4 月の国会議員選挙結果は予断を許さない状況であり、韓国外交の先行きも不透明な部分は残る。

本講話は、「日韓関係がなぜこうまで悪化したのか」という問題を再考すると共に、「では、どのように取り組むべきであるのか」を考えたい。